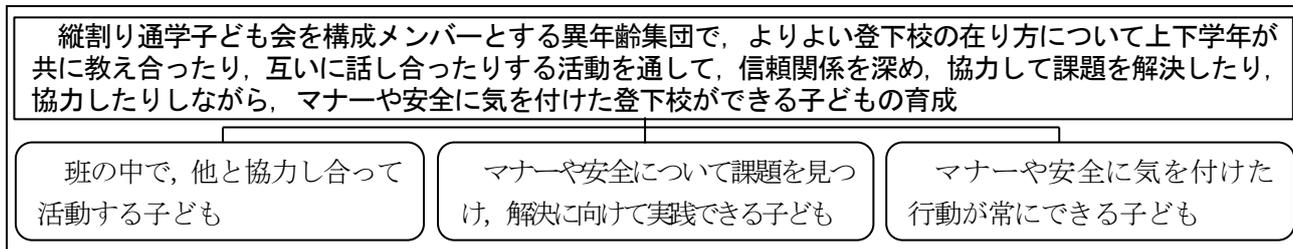
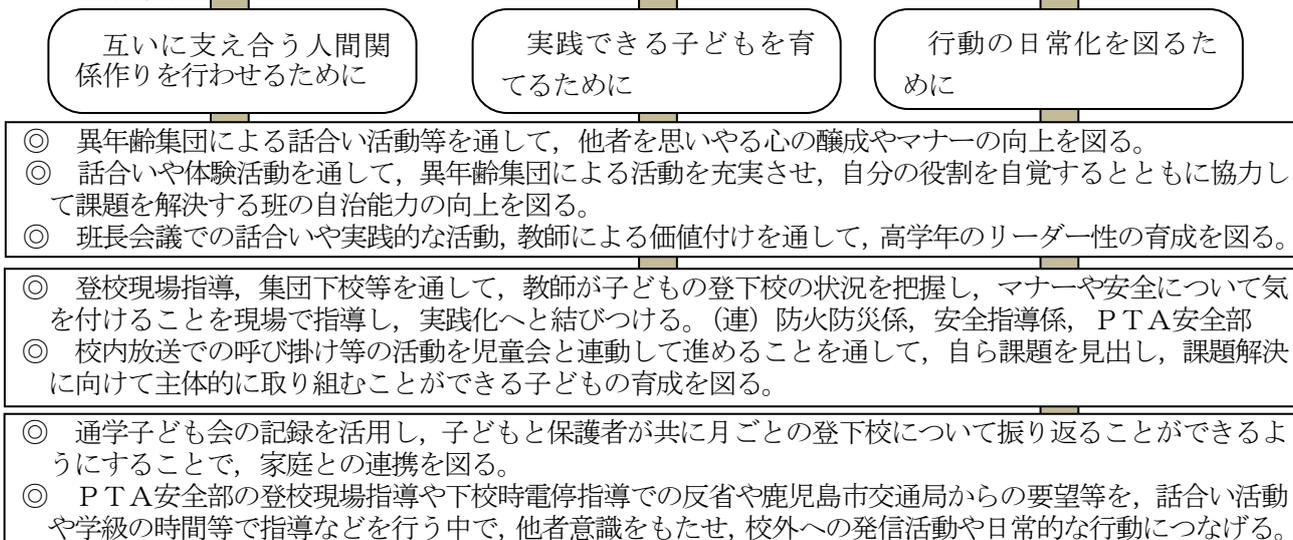


縦割り通学子ども会係活動計画

1 本年度の重点目標



2 重点取組事項



3 活動方法

- (1) 全グループ、話し合い活動を一斉に実施する。

通学子ども会(通子会担当)	
・ 登下校に関する振り返り	・ マナーアップ強調週間等に関する取組
・ マナーアップ強調週間の振り返り	・ ふれあい活動

- (2) 通学子ども会は、年間計画に沿って行う。

- (3) 通学子ども会は、以下の時間設定で行う。

通学子ども会 担当教諭から・登下校に関する振り返り・ふれあい活動・現場指導について (計 45分)

4 通学子ども会での話し合い内容

回	月	日	ねらい(重点)	主な学習活動	留意点	関連行事等
1	4	15	昨年度の反省や通学のルールやマナーを確認し、マナーを守った安全な登下校をする態度を養う。また、新1年生との自己紹介等の活動を通して、班の仲間との信頼関係を深めることができるようにする。	1 これまでの反省及びルールやマナーの振り返り (1) 昨年度の個人や班の反省 (2) ルールやマナーの確認 2 ふれあい活動(名前を知る)	・ 6年生は、時間までに1年生を各活動場所へ案内する。 ・ 前年度の登下校時における課題等について想起し、班の実態に合った前期の重点実践事項を設定できるようにする。	・ 第1回親子通学子ども会(4/19) ・ マナーアップ強調週間(6/3~6/7) ・ 集団引渡訓練(6/4)
2	5	28	4・5月の登下校の成果と課題を振り返ったり、通学子ども会スローガンを基にした各班での前期の重点実践事項やマナーアップ強調週間での取組について話し合ったりすることで、今後の実践意欲を高めることができるようにする。	※ 4・5月の振り返り(特活ノート) 1 4・5月の振り返りをし、成果と課題を確認する。 2 前期の重点実践事項の設定 3 個人目標の設定 4 マナーアップ強調週間の取組設定	・ 登校現場指導等の結果から、登下校の様子を客観的に振り返らせる。	

3	7	2	6月の登下校やマナーアップ強調週間、前期の重点実践事項について振り返る活動を通して、よりよい通学マナーを意識できるようにし、今後の登下校に生かせるように話し合う。	※ 6月の振り返り（特活ノート） 1 6月の振り返りをし、成果と課題を確認する。 2 マナーアップ強調週間の振り返り	・ 次のマナーアップ強調週間では、成果だけで終わられるよう意欲付けする。	
4	8	27	7・8月の登下校の成果と課題について振り返り、高まった姿を想起させることで、今後の実践意欲を高めることができるようにする。	※ 7・8月の振り返り（特活ノート） 1 7・8月の振り返りをし、成果と課題を確認する。 2	・ 登校現場指導等の結果から、登下校の様子を客観的に振り返らせる。	
5	9	24	9月の登下校の成果と課題や通学子ども会スローガンを基にした各班で前期の重点実践事項について振り返り、高まった姿を想起させることで、今後の実践意欲を高めることができるようにする。	※ 9月の振り返り（特活ノート） 1 9月の振り返りをし、成果と課題を確認する。 2 前期の重点実践事項の振り返り 3 今後の下校の取組について	・ 登校現場指導等の結果から、登下校の様子を客観的に振り返らせる。	
6	10	22	後期の重点実践事項の設定やマナーアップ強調週間の取組を設定することで、実践意欲を高めることができるようにする。	※ 10月の振り返り（特活ノート） 1 後期の重点実践事項の設定 2 マナーアップ強調週間の取組設定 3 今後の下校の取組について	・ マナーアップ強調週間の反省を受けて課題解決活動の立案を事前にご指導する。	
7	11	26	マナーアップ強調週間について振り返る活動を通して、よりよい通学マナーを意識できるようにし、今後の登下校に生かせるように話し合う。また、班員の信頼関係を深められるようにふれあい活動を行う。	※ 11月の振り返り（特活ノート） 1 マナーアップ強調週間の振り返り 2 ふれあい活動（信頼関係を深める）	・ 登校現場指導等の結果から、登下校の様子を客観的に振り返らせる。 ・ 次のマナーアップ強調週間では、成果だけで終わられるよう意欲付けする。	・ マナーアップ強調週間（11/1～11/8）
8	1	16	マナーアップ強調週間の設定や後期の実践事項の振り返りをすることで、実践意欲を高めることができるようにする。	※ 12月の振り返り（特活ノート） 1 マナーアップ強調週間の取組設定 2 後期の重点実践事項の振り返り 3 今後の下校の取組について	・ マナーアップ強調週間の反省を受けて課題解決活動の立案を事前にご指導する。	
9	2	18	マナーアップ強調週間での取組や後期の実践事項について振り返る活動を通して、よりよい通学マナーを意識できるようにし、今後の登下校に生かせるように話し合う。	※ 1月の振り返り（特活ノート） 1 マナーアップ強調週間の振り返り 2 後期の重点実践事項の振り返り 3 6年生を送る会に向けて 4 今後の下校の取組について	・ 登校現場指導等の結果から、登下校の様子を客観的に振り返らせる。 ・ 5年生は6年生を送る会を中心となって進めるため、輔指導を行っていただく。	・ マナーアップ強調週間（1/30～2/7）
10	3	11	2, 3月の登下校の様子を振り返らせることを通じて、課題を共通理解し、今後の取組について話し合う。 また、各班で6年生を送る会を行う。	※ 2, 3月の振り返り（特活ノート） 1 ふれあい活動（6年生を送る会） (1) 6年生へ感謝の言葉 (2) 6年生からの言葉	・ 形式だけにならず、6年生の役割や苦勞を在校生に伝えてもらうよう工夫する。	

○ 1回目の通学子ども会で、1年間の見通しをもたせる。

5 その他

- (1) 通学子ども会が行われる前日の昼休みに通学子ども会班長会議を行う。会の進行方法や、通学子ども会ごとの成果と課題を主体的かつ具体的に話し合えるようにする。
- (2) 通学子ども会の話し合いは、異年齢集団での活動を充実させるために、各通学子ども会内で異年齢の班を編成して行う。
- (3) 通学子ども会の記録（特別活動ノート）の受け渡し方法は、次のようにする。
ア 話し合いの前々日まで、子どもと保護者が通学子ども会の記録を活用して、登下校について振り返る。
イ 話し合いの当日までに、学級担任並びに各通学子ども会担当教諭が押印をする。
(他の活動に支障が出ないように会の後すぐに返却できるようにする。)
- (4) 通学子ども会の記録の記入欄は、月ごとの反省、集団下校の反省、地域あいご会行事、子ども110番の家、集団下校の際に、保護者が迎えに来る場所等を記入させるようにする。
- (5) マナーや安全を意識した登下校の日常化に向けて、年3回のマナーアップ強調週間を設定する。設定する期日は他の行事等を踏まえて設定するが、学年や学期の始めにこれまでのマナーや安全に留意した登下校について振り返り、新たな気持ちでマナーや安全に留意した登下校の日常化を図るという目的から、各学期の初旬から中旬である6月・11月・1月に設定する。